

- 行田市内各所に残る歴史を、行田らしい文化、かけがえのない誇りとして継承していく拠点
- 行田市特有の“ものづくり”の文化・技術と、多様な事業者連携による6次産業化と人材育成の拠点
- 様々な機能が集積する小さな拠点として、市民が健康で安心した生活を支援する拠点

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
(仮称) ぎょうだ	埼玉県	行田市(予定)	国道125号行田バイパス	新設	平成38年度予定	単独/一体型(調整中)

「健康」をテーマとした地域循環型の産業・生活拠点 ~ 情報発信拠点の形成

① “行田”の文化と産業の発信拠点

古代から近代まで多彩な歴史をもつ
行田らしい文化

市内農作物の生産・加工による
行田らしい産業

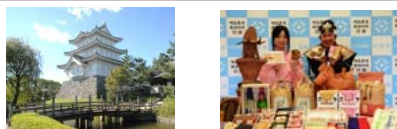
“足袋産業”に代表されるものづくり文化や食文化の継承



アグリパークと事業者が連携した特産品開発



市内観光資源のまるごと情報発信



農・商・工業体験と人材育成の場



② “行田”の健康生活の発信拠点

日々の健康な暮らしを支援による
行田らしい健康生活

地域の拠点となる医療・福祉・子育て機能の集約



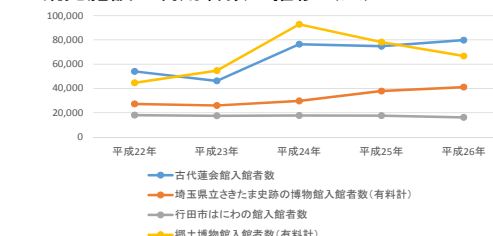
隣接する総合公園と一体となった健康づくりの場



■位置図



■観光施設の利用者数の推移(人)



<提案の先駆性・ポイント>

- ①インバウンド観光を見据えた市内観光資源の総合的な情報発信
- ①新鮮で健康な食材と文化を提供と農業振興・人材育成の場の形成
- ②道路環境への愛護意識を高めるための里親制度の推進
- ④医療・福祉・子育て機能の一体的整備による小さな拠点の形成
- ④総合公園と連携した健康づくり、スポーツウェルネスの形成

<実施内容>

- ①行田らしいものづくり文化・食文化を提供する一坪ショップの設置
- ①農業振興・人材育成に資するアグリパーク、体験・加工工場の設置
- ①道の駅を観光総合窓口としたインバウンド観光ネットワークの形成
- ①外国人観光客に配慮した案内サイン、フリーWi-fiの設置
- ②総合公園と連携した広場や広域連携に向けたバスターミナルの整備
- ④地域の生活拠点となるウェルネスサポート施設(産婦人科小児科)の誘致

優先的評価事項 ①次世代観光拠点の形成 ②道守との連携 ③高速道路との連携(該当なし) ④子育て応援